

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日 令和7年4月18日

Table with columns for 事務事業名 (土地開発公社運営事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (事務事業No. 050102000287), 政策体系 (総合計画の施策名 0501 計画的な土地利用の推進), 財務会計上の位置付け (一般会計 公社経営支援事業), 事業期間 (単年度繰返し (昭和48年度~)), 法令根拠 (公有地の拡大の推進に関する法律).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the land development company and its tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for staff, loans, and assets.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts and expenses from 05 to 09 years. Columns include 05年度(実績), 06年度(実績), 07年度(計画), 08年度(目標), 09年度(目標), and 期間限定総投入量.

06年度事業費実績(千円)

Table showing 06年度事業費実績 (千円) and 07年度事業費予算 (千円) with a total of 51,000 for 06 and 0 for 07.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 07 and 08 years. Lists tasks like staff change procedures, loan procedures, and reports to the city council.

事務事業名	土地開発公社運営事業	事務事業No.	50102000287	所属課	地域開発課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 桜川市では、平成27年に「桜川市土地開発公社に対する資金の貸付けに関する条例」を制定し、桜川市土地開発公社に対して同条例第2条第1項の規定により資金を貸し付け、土地の先行取得等を行わせており、令和6年度では、土地開発公社を事業主とした住宅地造成事業（第一工区）の工事が完了した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 令和6年度に実施した「大和駅北地区サウンディング型市場調査」では、土地開発公社が先行取得した土地の一部について工業用地としてのニーズがあることが確認された。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市土地開発公社は、桜川市が設置する特別法人であり、市が行う公共事業等の効率的な推進を図る上で公社による土地の先行取得等は必要不可欠であることから、市の政策体系と密接に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市土地開発公社は、桜川市が設置する特別法人であり、市が行う公共事業等の効率的な推進を図る上で公社による土地の先行取得等は必要不可欠であることから、市の関与は極めて妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 事務の効率化を図るため、土地開発公社所管課職員が職務専念義務免除及び営利企業従事許可を受けて土地開発公社事務局職員を兼務し、一体的に事業に取り組んでおり、これ以上の成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市土地開発公社は、桜川市が設置する特別法人であり、市が行う公共事業等の効率的な推進を図る上で公社による土地の先行取得等は必要不可欠であることから、廃止した場合の影響は計り知れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 桜川市土地開発公社は、桜川市が「公有地の拡大の推進に関する法律」第10条第1項の規定により設置する特別法人であることから、代替又は統廃合は不可能である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事務の効率化を図るため、土地開発公社所管課職員が職務専念義務免除及び営利企業従事許可を受けて土地開発公社事務局職員を兼務し、一体的に事業に取り組んでおり、これ以上の削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市土地開発公社は、桜川市が「公有地の拡大の推進に関する法律」第10条第1項の規定により設置する特別法人であることから、公正性及び公平性は担保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 令和5年4月 役員変更手続に関する事務（辞任届の受付並びに任命書の交付及び就任承諾書の受付）を行った。 5月 市議会への経営状況報告を行った。 令和6年3月 資金貸付手続に関する事務（土地の先行取得に係る予算措置）を行った。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続（現状維持） C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続（改革改善を行う） D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>	
---	--	---	--